

# 湯沢 J C

[秋田県]

## 個性と元氣溢れる シニアクラブ、温かく 力強い「現役の応援団」

しんしんと雪が降る光景を窓越しに、この原稿を書いている

今年も連日30cm以上の積雪に見舞われた湯沢市は、秋田県最南部に位置する自然に囲まれた人口5万5000人のまちです。佐竹南家の城下町で、「みちのくの小京都」とも呼ばれる風光明媚な場所です。県内有数の米どころであり、市内には造り酒屋が軒を並べ、おいしい日本酒は市民の自慢となっています。また、日本三大うどんの稲庭うどんの産地でもあり、川連漆器・仏壇など、「食と匠」の宝庫でもあります。そして、当市は、歌人・小野小町の生誕地とされ、数々の伝説を残す地でもあります。

社団法人湯沢青年会議所が産声を上げたのは1969年7月。創立

以来、湯沢市、旧稲川町、旧雄勝町、旧皆瀬村、羽後町をエリアに約300名の青年達が、明るく豊かな社会を築くために積極的な運動を展開してきました。市民に望まれるJC運動を展開するためには、「ま



現役・シニアクラブ合同新年会で、抱負を語る柴田直人理事長



伊藤雄太郎シニアクラブ会長をはじめとする鏡開き



昨年9月に湯沢JCが主管した「東北青年フォーラム in 湯沢」

ずは飲んで語ってメンバー一同絆を深めることが大事」という当LOMの伝統は、今もしっかりと現役メンバーに引き継がれています。そのせいか60余名の現役メンバーは勿論のこと、当クラブは個性と元氣溢れるOBが多いのが特徴です。

昨年9月、湯沢JC39年の歴史の中で、初めて社団法人日本青年会議所東北地区協議会主催の「2007年度東北青年フォーラム」を主管しました。地区内から約2000名のメンバーをお迎えするという大事業の成功を支えたのは、現役の情熱とシニアクラブの支援との、強力な連携があったことは言うまでもありません。当時、現役として主催の責任者であった私も、シニアクラブのお力添えには心から感謝をい

ました。また、5月17日には、湯沢JC創立40周年記念式典を開催することもあり、昨年現役メンバーとの絆をより強固なものにしたシニアクラブとして、引き続き温かくも力強い支援をしていきたいと思っております。

私達は40年間に渡って湯沢JCの歴史と伝統を創り上げた誇りを持ち、現役の最も身近な応援団として、また現役のお手本となるべく、真の市民リーダーとしてまちに貢献できるシニアクラブであり続けたいと思います。何よりも、JC運動によって培われた勇気と気概を忘れずに。

日本JCシニア・クラブ  
秋田ブロック担当幹事 松田悦子